**第３回　新飛行経路案に係る環境検証委員会　開催結果概要**

■日時：令和６年１月29日（月）14時00分から15時45分まで

■場所：大阪赤十字会館４階　401会議室

■会議の概要：

〇淡路島3市における住民説明の結果及び地元市町の意見について、事務局から　説明した。

〇航空機騒音の予測について、第２回委員会での最も厳しいケースを想定した暫定案から、深夜・早朝時間帯の海上ルート適用など前提条件を一部変更した修正案について、関西エアポート社から説明した。関西国際空港及び神戸空港ともに、全ての陸域において航空機騒音の環境基準（Lden）を超えることはなく、また、関西国際空港では、参考値として示した環境基準マイナス５dBの範囲が、暫定案では一部住宅地にかかっていたものの、修正案では、全て住宅地から外れ、ほぼ海上に収まることを確認した。加えて、関西国際空港では、２期事業アセスメントの騒音予測図と比較し、範囲が縮小したことを確認した。

〇神戸出発便の新ルートについて、関空到着便と交差する場合に高度3千フィート で陸域を飛行するケースがあり、騒音レベルで懸念が生じていた。これに関し、　委員から、深夜・早朝時間帯について一層の時間規制を求める意見があった。しかし、地元自治体からの意見を尊重して原案どおりとした上で、その頻度を可能な限り抑制するよう、国に対して運用上の工夫を行うことを要請することとなった。併せて、地域としても、環境監視に努め、必要に応じて改善検討を行うことが重要との指摘があった。

〇これまでの議論を総括し、住民の生活環境への負担をできる限り軽減できるよう、国に対する要請と地域における取組みを盛り込んだ「中間とりまとめ」を行い、　公表することとした。

〇委員から、今後、地域に対してできる限り情報を共有し、何かあったときに常に 議論ができる体制作りを心掛けてほしい旨のコメントがあった。

以上